

製品名: LRRC41 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13441**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	LRRC41
別名	LRRC41; MUF1; PP7759; Leucine-rich repeat-containing protein 41; Protein Muf1
遺伝子 ID	10489.0
SwissProt ID	Q15345
免疫原	抗血清はヒト LRRC41 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 391-440

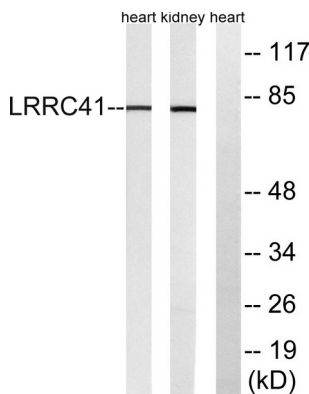
背景

注意:Met-1 と Met-23 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。ドメイン:エロンギン BC 複合体の結合ドメインは、[APST]-L-x(3)-C-x(3)-[AILV] のコンセンサスを持つ BC ボックスとしても知られています。機能:標的タンパク質のユビキチン化とそれに続く

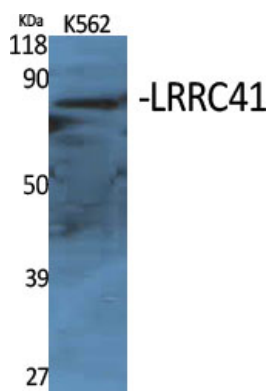
プロテアソーム分解を媒介する ECS (エロンギン BC-CUL2/5-SOCS ボックス タンパク質) E3 ユビキチン リガーゼ複合体の推定基質認識成分です。経路:タンパク質修飾;タンパク質ユビキチン化。PTM:DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。配列注意:N 末端側が延長された翻訳。類似性:7 つの LRR (ロイシンリッチ) リピートを含む。サブユニット:Elongin BC (TCEB1 および TCEB2)、RBX1、CUL5 を含む E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の一部。CUL5、RNF7/RBX2、Elongin BC、LRRC41 を含む ECS(LRRC41)複合体の構成要素と考えられる。CUL5、RNF7、TCEB1、および TCEB2 と相互作用します。注意:Met-1 または Met-23 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。ドメイン:エロンギン BC 複合体結合ドメインは、[APST]-L-x(3)-C-x(3)-[AILV] コンセンサスを持つ BC ボックスとしても知られています。機能:標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する ECS (エロンギン BC-CUL2/5-SOCS ボックス タンパク質) E3 ユビキチン リガーゼ複合体のおそらく基質認識コンポーネントです。経路:タンパク質修飾;タンパク質ユビキチン化。PTM:DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。配列注意:N 末端側が延長された翻訳。類似性:7 つの LRR (ロイシンリッチ) リピートを含む。サブユニット:Elongin BC (TCEB1 および TCEB2)、RBX1、CUL5 を含む E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の一部。CUL5、RNF7/RBX2、Elongin BC、LRRC41 を含む ECS(LRRC41)複合体の構成要素と考えられる。CUL5、RNF7、TCEB1、TCEB2 と相互作用する。

研究分野

画像データ



LRRC41 抗体を用いたラット腎臓細胞およびラット心臓細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LRRC41 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析

LRRC41 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析

